

# 馬主だより

第75号

平成27年12月18日

発行 (一社)ばんえい競馬

馬主協会事務局

## ☆帯広市 ネット馬券利用者を旅行や物販につなげる新たな計画 !!

▼師走の風が襟元をかき立てる季節になりました。年の瀬も迫り日の暮れるのも早いせいか慌ただしさを感じさせる今日この頃です。今年の冬はエルニーニョ現象の影響で寒気が流れ込んでくるのが弱く暖冬との予報ですが、北海道内の平均気温や降雪量は平年並みのようです。▼さて、帯広市では、ばんえい競馬のインターネット馬券購入者らに帯広の観光や物産を売り込む“ネット販売総合サイト”の開設を計画している!! 国の地方創生先行型交付金を活用した事業で、ばんえい競馬やファームツーリズムなどを組み合わせた旅行商品を造成し、馬券購入者らにアピール。帯広競馬場内の交流施設「とかちむら」の物産などネットを通じて販売するようです。▼今やネットで何でも買える時代、世界で40億人もの人がインターネットを利用しています。ここ最近よく耳にする“IoT”というキーワード。「Internet of Things」(モノのインターネット)の略で、あらゆるものがインターネットにつながり、人々の暮らしや産業の姿を変えるといわれております。▼テレビのリモコン一つで世界中のどこからでも馬券が買える時代が来るのは、そんなに遠くない未来なのかもしれません!!

### 平成27年度 ばんえい競馬 発売成績(総額)

開催106日間

帯広市ばんえい振興室資料提供

平成27年12月14日終了時

区分	発 売 金 額							
	平成27年度			平成26年度		対 比		
	日数	発売額	予算額	日数	発売額	予算	前年	
本 場	106	1,020,373,300	972,934,600	106	1,042,901,000	104.88	97.84	
直営場外	旭川北彩都	106	559,314,700	573,110,600	106	631,270,300	97.59	88.60
	ミトスポット北見	106	245,763,600	216,441,300	106	258,219,500	113.55	95.18
	ハロンス岩見沢	106	176,071,000	152,836,600	106	185,834,500	115.20	94.75
	ハロンス釧路	106	74,981,800	72,835,000	106	81,856,000	102.95	91.60
	ハロンス名寄	106	75,785,000	77,008,500	106	93,216,500	98.41	81.30
	アプスポット網走	106	61,617,100	82,837,600	106	88,299,100	74.38	69.78
	琴似駅前	106	101,728,800	96,077,300	106	95,841,400	105.88	106.14
	イルムふかがわ	106	83,498,200	84,891,600	106	86,950,900	98.36	96.03
電投	オッズパーク	106	3,351,513,800	2,806,608,900	106	2,907,735,700	119.42	115.26
	OP(七重勝)	106	37,889,500	47,700,000	106	22,818,600	136.13	166.05
	OP(五重勝)	106	27,042,700		106	22,816,700		118.52
	競馬モール	106	2,554,313,700	1,814,534,500	106	1,931,267,400	140.77	132.26
	SPAT4	31	547,659,700	382,331,900	36	475,788,000	143.24	115.11
広域場間場外	—	799,765,500	742,393,300	—	760,294,700	107.73	105.19	
場外・電投計	—	8,696,945,100	7,149,607,100	—	7,642,209,300	121.64	113.80	
合 計	106	9,717,318,400	8,122,541,700	106	8,685,110,300	119.63	111.88	
1日平均		91,672,815	76,627,752		81,935,003	119.63	111.88	

平成27年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第18回6日目まで106日間)

平成26年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第18回5日目まで106日間)

## 情報・ご案内

### ○ 平成27年度上半期監事監査実施！

#### ～理事職務執行、協会の業務、財産、会計の状況について監査～

平成27年10月24日(土)当協会事務局会議室において、平成27年4月から9月期までの上半期六ヵ月の監査を実施しました。

監査には、執行理事を代表し赤堀代表理事会長並びに長津専務理事が立会し、宝田、堂場両監事による監査が行なわれました。

業務監査については、理事の職務の執行状況について。また、会計監査に当たっては、財産の実在性を中心に、帳簿、証拠書類等の閲覧、照合、質疑等を行ないました。

今年度から新たな事業として、診療業務補完事業を実施している事から、当該事業の進捗状況や診療所の状況等について質疑がありました。

監査終了後、監事から「下半期においてもしっかりと事業計画に基づき、経営の効率化、経済性の追求に研鑽され、予算統制をしながら運営するように。」との講評がありました。

### ○ 第3回執行役員会 第2回理事会実施！

#### ～帯広市と意見交換 補正予算で報償費増額へ！！～

平成27年11月15日(日)午前11時30分から当協会事務局会議室において、平成27年度第3回執行役員会を開催いたしました。役員会終了後、引き続き第2回理事会を開催致しました。

執行役員会では、競走馬弔慰金対象馬3頭について審議。原案のとおり可決承認されました。

また、当日午後から開催予定の第2回理事会に先立ち、懸案事項について執行役員で事前協議を致しました。

その他、平成28年度の診療業務補完事業実施に係る経費等の算出内訳の考え方について事務局から説明。今後、主催者に診療所の安定的体制の礎を築くために重点的、かつ優先的に取り組む必要性を伝えると共に来年度の補助事業について、これをベースに帯広市と話し合いを進めて行く事を確認しました。

#### 【執行役員会議事】

- (1) 競走馬弔慰金の査定について
- (2) 平成27年度第2回理事会議案
- (3) 平成28年度診療業務補完事業実施計画に係る経費等の算出内訳
- (4) その他

【馬弔慰金支給対象馬】 3頭 1,500,000円

内 訳

(単位;円)

馬 名	年齢	馬 主	給付別	馬弔慰金
コウシュハタイガー	2	広瀬 豪	業務中	500,000
タケノテンリュウ	3	安藤 正人	業務中	500,000
タケノビジン	8	安喰 武雄	業務中	500,000

第 2 回理事会では、上半期の事業実施状況や収支状況等、中間監査について報告。今年度から新たに実施している診療業務補完事業に係る補助金交付申請及び診療機器等の貸与契約の内容等について理事者に報告。

また、協議案では、当日午後 3 時から予定していた帯広市ばんえい振興室との意見交換にあたり事前協議を致しました。

今年度の発売成績、報償費の支給実績(第 15 回開催終了時)や競走馬の頭数及び出走状況を踏まえ、以前からの懸案でありました“12 月補正に向けて”帯広市に報償費の増額を改めて要請する事を決定。

引続き理事会において帯広市と意見交換を致しました。

帯広市は、「発売総額を見れば順調に伸びているものの、発売の内容は、電話、ネット投票の伸びが顕著な一方で収益率がどんどん下がっている状況も視野に入れ補正予算を策定する考えを示し、その中で報償費についても増額を検討している。」旨の説明がありました。

### 【第 3 回理事会議事】

日程 1	報告第 1 号	代表理事及び業務執行理事の職務執行状況
	報告第 2 号	監事中間監査実施について
	報告第 3 号	競走馬弔慰金の給付額決定について
	報告第 4 号	正会員の入会申込について
日程 2	報告第 5 号	診療業務補完事業について
日程 3	報告第 6 号	発売成績及び報償費の支給状況等について
日程 4	協議案第 1 号	帯広市意見交換事前協議について
日程 5	その他	① 2016 年お正月イベント企画案について ② 次回理事会の日程について

### 【正会員新規入会者】

会員番号	入会者氏名	ブロック名	入会月
27- 2	安 藤 正 人	道東ブロック	4 月
27- 3	島 村 政 秀	道南ブロック	5 月
27- 4	加 藤 康 成	道東ブロック	6 月
27- 5	(株)アービレック 山 田 秀 徳	道南ブロック	6 月
27- 6	阿 部 日 出 夫	道南ブロック	7 月
27- 7	高 佐 信 彦	道南ブロック	8 月
27- 8	(株)北栄運輸 坂 田 秀 一	道南ブロック	8 月
27- 9	山 田 喜 美 男	道南ブロック	8 月
27-10	(株)北西ファーム 竹 内 宏 人	道南ブロック	9 月
27-11	永 澤 博 之	北網ブロック	9 月
27-12	小笠原 達 也	道東ブロック	10 月
27-13	佐 藤 豊	道南ブロック	11 月

○ **27年度馬登録検査日程決まる 只今馬登録申請受付中！！**

**～3月9(水)・10(木)及び3月23(水)、24日(木)～**

※平成28年1月1日以降馬登録申請は売買契約書の写し等が必要となります。

**本年12月中の申請をお勧めいたします。詳細は別紙により“再度ご確認を！”**

平成27年度の新馬登録検査の日程が決定しましたので、お知らせいたします。

来年4月予定の第1回能力検査を受検するには、当該定期馬登録検査(下記日程)を受けておくことが必要です。

また、第2回能力検査の一週間前及び能力検査当日に登録検査を行なう予定です。4月以降の馬登録検査日程については、後日お知らせいたします。

なお、当該検査日は、混雑を避けるため、あらかじめ調教師毎に検査日が指定されますので、お間違えのないよう。詳細につきましては、預託予定の調教師へ事前にご確認ください。

【定期馬登録検査日程及び場所】

検査日時	検査場所
平成28年3月9日(水) 9:00～ 平成28年3月10日(木) 9:00～	帯広競馬場 装鞍所
平成28年3月23日(水) 9:00～ 平成28年3月24日(木) 9:00～	

■【登録検査時の注意事項】

- ① 検査時に特徴の違う馬が発見された場合に備え、その馬の入手経路がわかるようにしておいてください。
- ② 検査時は、必ず馬に轡(くつわ)を装着してください。
- ③ 検査時は、特徴が判別できるよう馬体の汚れを落としてください。
- ④ 検査当日、現地(競馬場)での申請受付は一切いたしません。
- ⑤ 検査当日、競馬場に入りゅうし登録検査を受検する場合には、必ず馬伝染性貧血検査及び三種混合ワクチン(所定の間隔で実施)の証明書を携行してください。

○ **“馬主入場証” 帯広競馬場で即日交付 写真2枚持参！！**

**～きゅう舎構内の出入り 必ず警備員に入場証提示を！～**

会員の皆様は、“馬主入場証”をお持ちでしょうか。

この入場証は、全国公営競馬主催者協議会が発行し、開催執務委員長が交付するもので、ばんえい競馬の開催時間内に証明書用写真(縦4cm×横3cm)2枚を帯広競馬場 整理本部(スタンド一階の一番奥に部屋があります。)までご持参いただければ即時交付となります。勿論、手数料等は一切不要です。

馬主がきゅう舎構内を出入りする際は、必ず警備員から馬主登録証※1もしくはこの“馬主入場証”の提示を求められます。また、この入場証で、全国地方競馬場へ入場することも可能です。(現在の入場証の有効期限は2017年12月末日です。)

まだ、お持ちでない方は、是非、この機会にご検討ください。

注1：馬主登録証を亡失し、又はき損した場合、再発行手数料が1万円となります。

## レース情報

### ○ 重賞競走の結果

月日	重賞名	馬名	馬主	調教師
10月12日	第38回 ナナカマド賞	フウジンライデン	田中 猛	岩本 利春
10月25日	第36回 北見記念	キタノタイショウ	木下 英三	服部 義幸
11月1日	第40回 ばんえい菊花賞	センゴクエース	千石 貞子	槻館 重人
11月8日	第40回 クインカップ	フェアリードール	日野 貴	岩本 利春
11月22日	第6回 ドリームエイジカップ	オレノココロ	大森 勝廣	槻館 重人
11月29日	第40回 ばんえいオークス	ホクショウモモ	井内 昭夫	松井 浩文

**優勝おめでとうございます！！**

#### ◆ 第38回ナナカマド賞（2歳オープン）

単勝2番人気のフウジンライデンが優勝。この世代初のタイトルウイナーとなりました。2走前こそ10着に敗れていたキタノリュウキが、前走できっちり巻き返したこともあって1番人気。堅実なレースぶりを見せるフウジンライデンが続きましたが、この時期の2歳戦とあって以下は混戦模様。570キロの重量と2.1%の馬場水分がどうであるか、未知の領域に挑む2歳馬たちの挑戦が始まりました。

各馬、勢いよく飛び出しながらも、相手の出方をうかがうように横一線。一進一退を繰り返し、極端に遅れる馬もなく、全馬が差なく第2障害を迎えました。

フウジンライデン、サクラダイチ、ヒカルナナヒメがほぼ同時に仕掛け、やや遅れて他馬も登坂開始。しかし、フウジンライデンとサクラダイチが抜群のかけりを見せて、あっさり突破します。エアシップ、リュウセイイチバン、アラワシキングと続き、ツルイテンリュウとキタノリュウキもこの一角でクリアしました。

しかし、先頭の2頭の脚いろは乱れず、特にフウジンライデンは一步一步力強い歩みを見せます。残り10メートルを切ったところで、脚が鈍ったサクラダイチを突き放し、そのままフウジンライデンが世代の頂点に名乗りを上げました。サクラダイチは懸命の粘りを見せて2着を確保。3着にはリュウセイイチバンが入線しました。

フウジンライデンはこれでデビューから【4・3・0・4】。掲示板を外したのは1度だけと、堅実な成績を残しています。いかにも「レースに集中している」といった力強い脚どりを見せたのが印象的で、今後もより大きな舞台での活躍が期待できそうです。

#### ◆ 第36回北見記念（3歳以上オープン）

単勝7番人気のキタノタイショウが優勝。3月のばんえい記念以来となる重賞12勝目を挙げ、古豪健在を示しました。

今のばんえい古馬戦線の混迷ぶりを示すように、7頭が単勝ひと桁台。なかでも1番人気に推されたのは5歳馬オレノココロで、2番人気にも同じく5歳のコウシュハウンカイ。7歳

のニュータカラコマやフジダイビクトリー、オイドンも上位人気に推されており、世代交代なるか注目が集まりました。

馬場水分は 1.2%と力の要る状態でスタート。道中はフジダイビクトリー、ホクショウユウキが先行。差なくインフィニティー、オレノココロ、キタノタイショウあたりが続きます。ただ、力の要る馬場での高重量戦。各馬とも慎重に、何度も刻みながら第 2 障害にたどり着きました。

真っ先に動いたのはインフィニティー。続けてホクショウユウキ、ホリセンショウも障害に挑みます。その後に仕掛けたオレノココロとコウシュハウンカイが切れのある登坂を見せますが、2 頭ともヒザを折り、立て直しに苦戦。そうした中、先頭でクリアしたのは、最初に仕掛けたインフィニティー。やや離れてキタノタイショウとコウシュハウンカイも突破し、さらに離れた 4 番手でフジダイビクトリーが続きました。

先頭を行くインフィニティーは残り 30 メートル付近で立ち止まり、追ってきたキタノタイショウとコウシュハウンカイに交わされます。ところが今度はキタノタイショウが脚を止め、またしても横一線で 3 頭が並ぶ展開。しかし、残り 10 メートル標識の手前でインフィニティーとキタノタイショウの脚が止まり、コウシュハウンカイが抜け出して 2 馬身ほどリードを広げます。これで勝負あったかと思われましたが、ゴール手前で今度はコウシュハウンカイの脚いろが一気に鈍り、そこへキタノタイショウが急追。2 頭がなだれ込むように同時にゴール線を切りましたが、結果は 0 秒 6 差だけ、キタノタイショウが先着していました。インフィニティーは、コウシュハウンカイから 1 秒 5 差の 3 着でゴールしました。

重鎮キタノタイショウがばんえい記念以来となる重賞制覇。重量面で恵まれたのもありますが、第 2 障害でじっくりとためた分が、しまいの切れに生かされた印象です。今年で 9 歳とはいえ、やはり高重量戦やタフな馬場では軽視できない存在。今後の重賞戦線でも活躍が期待できそうです。

2 着のコウシュハウンカイは、ゴール寸前で勝利がするりと抜け落ちてしまいました。ただ、勝ったキタノタイショウより 20 キロも余計に曳いていたことを考えれば上々の結果。まだ 5 歳と若い分、チャンスはいくらでもあるはず。今後のレースぶりに注目です。

#### ◆ 第 40 回ばんえい菊花賞（3 歳オープン）

単勝 1.4 倍の断然人気に推された**センゴクエース**が優勝。三冠初戦のばんえい大賞典で競走除外となり、出走できなかった無念をここで晴らしました。

注目はやはり昨季 9 戦無敗のセンゴクエース。今シーズンはばんえい菊花賞こそ競走除外となりましたが、前走で古馬 A1 を相手に 3 着に食い込むなど、随所で 3 歳馬とは思えないようなレースを見せています。それだけに重量も 720 キロと、最大 50 キロのハンデ差。この厳しい条件を克服できるか、注目が集まりました。

馬場水分は 1.0%と乾ききった状態でスタート。とはいえ 700 キロ前後の重量だけに、各馬軽快に第 1 障害を突破します。多少の出入りはあったものの、ほぼ横一線で推移し、各馬とも差なく第 2 障害を迎えました。

最初に動いたのはキンメダルで、タキニシサンデーとコウシュハシンザン、コウリキも登坂を開始。やや遅れてセンゴクエースが仕掛けますが、天板で痛恨のヒザ折りを喫します。その間にキンメダルが余力十分に障害をクリア。一気に差を広げ、独走態勢を築きます。じっくりためていたメモロコマチがひと腰で上がり、離れた 2 番手から追撃態勢。立て直したセンゴクエースが 3 番手で、以下バウンティハンター、タキニシサンデー、テンカトウイツ、コウリキと続きました。

先頭を行くキンメダルは楽勝ムード。残り 10 メートル標識付近で多少脚いろが鈍りましたが、セーフティリードを保ちます。1 度脚が止まり、センゴクエースに差を詰められますが、それでも先頭をキープ。なんとか逃げ切るか、と思われたところ、センゴクエースがゴール寸前で渾身の追い込みを見せ、2 頭がなだれ込むようにしてゴール。結果、わずかに 0 秒 1 差、センゴクエースに軍配が上がりました。メモロコマチとコウリキの 3 番手争いも激しい叩き合い

となりましたが、ゴール線上でメモロコマチがストップし、コウリキが3着で入線しました。

センゴクエースはこれで重賞4勝目。世代限定戦では10戦無敗と、無類の強さを誇っています。今回は辛勝でしたが、三冠馬ウンカイ、女傑サダエリコの遺伝子が生み出す底力。ばんえいダービーはもちろん、その後の重賞戦線でも要注目の存在です。

惜しかったのはキンメダル。悲願の重賞初制覇が、ゴール寸前でこぼれ落ちてしまいました。ただ、障害を難なく越えたレースセンスは今後も武器となるでしょう。馬場や重量次第で、またチャンスが巡ってくるに違いありません。

#### ◆ 第40回クインカップ（4歳オープン）

単勝1番人気のフェアリードールが優勝。目下のデキの良さを生かし、重賞初制覇を果たしました。牝馬重賞2勝を誇るキサラクキが720キロのトップハンデ。最大40キロのハンデ差があるだけに、キサラクキの取捨がまずはキーポイントとなりました。A2、B1で好勝負を演じているアアモンドセブン、アサヒメイゲツ、フェアリードールなどとは10～20キロの差。これがレースにどう作用するか、注目を集めました。

小雨の降る中、馬場水分は2.8%でスタート。道中はアアモンドセブン、センゴクイチが飛ばし、キサラクキもこの一角。フェアリードール、アサヒメイゲツも差なく追走します。先行勢は快調に飛ばし、アアモンドセブン、センゴクイチ、フェアリードールが先頭で第2障害にたどりつきました。

ひと呼吸入れただけでアアモンドセブンとフェアリードールが登坂開始。あっさりと荷物を曳き上げ、ゴール前の平坦路に向かいます。遅れて仕掛けたセンゴクイチは、いったん止まったものの、すぐに立て直して3番手で突破。キサラクキも直後に下り、勝負権を持ったまま最後の攻防に備えます。

先頭に行くフェアリードールの脚いろは軽快でしたが、それ以上の末脚で迫ってきたのがキサラクキ。残り20メートル付近から馬体を併せにかかり、懸命に脚を伸ばします。しかし、フェアリードールもしぶとい粘りを発揮。クビほどの差を保って先頭をキープします。残り10メートルを切っても、そのままの差。そしてゴール前でも激しい叩き合いが演じられましたが、結局その差は縮まらず、0秒7差だけフェアリードールが先着しました。キサラクキから5秒2差の3着にはセンゴクイチが入線しました。

勝ったフェアリードールは昨年のばんえいオークス(2着)の雪辱を果たし、重賞初制覇。ハンデ差が味方したのは否めませんが、最後までキサラクキの猛追をしのぎきったのは、たぐいまれな勝負根性のたまものでしょう。自分でレースを作った内容も良く、今後も活躍が期待できそうです。

#### ◆ 第6回ドリームエイジカップ（4歳以上 馬齢選抜）

単勝2番人気の5歳馬オレノココロが優勝。今年のばんえい十勝オッズパーク杯に続く重賞7勝目を挙げ、冬の重賞戦線へ向け、幸先のいいスタートを切りました。

昨シーズンのばんえい記念2着馬ニュータカラコマが重量面で恵まれたうえ、前走できっちり勝利して臨むこともあって、1番人気に支持されました。少し離れた2番人気に5歳のオレノココロ、ほぼ並ぶような形で4歳牝馬キサラクキと、若駒が続くオッズ。実績馬か新鋭か、まさに今後のばんえいを引っ張っていく“ドリームエイジ”決定戦の様相を呈しました。

馬場水分1.5%でスタート。馬群を引っ張ったのはオレノココロ。ハイペースで逃げる形となりましたが、他馬は慎重に歩を進め、1頭を除いてほぼ横一線という態勢。第2障害の手前で若干差が詰まりましたが、結局はオレノココロがリードして障害を迎える形となりました。

真っ先に仕掛けたのもオレノココロ。抜群の登坂を見せ、一気に障害を駆け上がります。天板に乗ったところで一瞬ヒザを付きかけますが、これを何とかこらえると、そのまま先頭で突破しました。他馬は少し後手にまわるような展開となりましたが、やや遅れてニュータカラコマ、フジダイビクトリー、ホクショウユウキとクリア。勝負はこの4頭に絞られました。

先頭を行くオレノココロに迫ってきたのは、実績馬ニュータカラコマ。ハンデ差も10キロあるだけに、みるみるうちに差が詰まります。ところが残り20メートルを切ってから、オレノココロが再加速。軽快なピッチでニュータカラコマを引き離しにかかり、結局これに3秒8差をつけて先頭で荷物を運び切りました。さらに4秒1差の3着にはフジダイビクトリーが入り、人気サイドでの決着となりました。

冬場を前に、オレノココロが持ち前のスピードを見せつけて勝利。みずからレースを作って押し切ったレース内容は圧巻でした。今後は重量が増えるために障害での立ち回りがカギとなりますが、混戦が続く古馬戦線にまた1頭、楽しみな存在が現れたと言えるでしょう。

#### ◆ 第40回ばんえいオークス（3歳牝馬オープン）

単勝4番人気のホクショウモモが優勝。2月の黒ユリ賞では10着だった同馬が成長ぶりを示し、3歳牝馬の頂点に君臨しました。

黒ユリ賞馬で、牝馬相手のばんえい大賞典も制しているシリウスが1番人気。以下ばんえい菊花賞4着のメモロコマチ、5連続連対中のワタシハサクランボが続き、ホクショウモモ、タキニシサンデーまで5頭が単勝ひと桁台と、上位は拮抗したオッズになりました。一筋縄ではいきそうにない、という戦前予想に、馬場水分2.5%の馬場がどう作用するか注目が集まりました。

軽めの馬場とあって、各馬とも積極的なレース運び。ホクショウモモが軽快に飛ばし、タキニシサンデー、メモロコマチも遅れず追走。これにシリウスも加わり、レース序盤から激しい争いが繰り広げられました。やや縦に長い展開の中、ホクショウモモが先頭で第2障害にたどり着き、タキニシサンデー、シリウス、メモロコマチの順で勝負どころを迎えました。

ここで勝負に出たのは松田道明騎手とホクショウモモ。5頭がまだ障害にたどり着いていない段階で、いち早く登坂を開始します。これに3頭も素早く反応。各馬とも鋭い登坂を見せ、次々と障害を突破していきました。

ここから先は、しまいの我慢比べ。残り15メートル付近からは各馬の脚いろが鈍りはじめ、唯一、障害でひと息入れていたメモロコマチがジワジワと脚を伸ばします。そして残り5メートルを切ったあたりでホクショウモモのスピードが落ち、タキニシサンデーが猛追。そして2頭が並んだところでゴール。結果はわずか0秒2差、ホクショウモモが粘り切りました。タキニシサンデーが2着で、さらに1秒9差の3着にメモロコマチが入線しました。

道中は完全にペースを掌握し、仕掛けのタイミングも絶妙。馬場と重量を考慮しながら、強気に運んだ松田騎手の好騎乗でした。そして、その叱咤に応じてゴールまで粘り通したホクショウモモの、比類なき勝負根性。女王の座にふさわしい、力強いレースを見せてくれました。ひと夏を越してのパワーアップは明らかで、今後の牝馬戦線でも軽視できない存在となりそうです。

タキニシサンデーは悔しい2着。多少後手に回った面は否めませんが、それ以上に勝ち馬にうまく乗られてしまった印象です。ただ、ハイペースを追走しながら、しまいまでしぶとく脚を伸ばした内容は高く評価できるもの。今後もタイトル奪取のチャンスがありそうです。

3着のメモロコマチは中間点あたりから大事に刻んでおり、それが最後の伸びにつながった印象を受けました。馬場や重量、多少の展開利さえあれば、引き続き好勝負ができるでしょう。

※ レース情報の内容につきましては、ばんえい競馬情報局より抜粋しています。